



21世紀を主体的に生きる!

明日を創る太子高校

兵庫県立太子高等学校は創立52年、総合学科として15年。聖徳太子ゆかりの地で、自ら学び続ける姿勢を追い求め、常に進化し続けています。

《教育目標》

本校の主要な教育目標は自ら学び続ける生徒を育てることです。その目標設定の土台には本校が総合学科高校として蓄積してきた社会と教育に対する見方や生徒の学習に対する考え方があります。本校はこの目標を達成するためのカリキュラムを「太子メソッド」と名づけています。

《総合学科の取り組み》

1. 「キャリア教育」の推進

様々な課題に柔軟かつたくましく対応し、自らの意思と責任で社会人として自立していくことができる力を身につけます。

2. 「確かな学力」の育成

身につけた知識・技能を活用して自ら課題を解決し、応用することができる力を身につけます。



プレゼンテーション能力の向上

「産業社会と人間」自分の適性や可能性を見つけ自己の在り方や生き方について主体的に考えます。進路ナビ、インターンシップを活用して、職業観、進路についての学習を深めていきます。

「基本探究」興味関心に応じて生徒自身が課題を発見し探究活動を通して知識や技能を身につけます。教科・科目を横断する学際的な学習の基盤を育みます。

「総括探究」基本探究をもとに探究活動の深化を図り、その成果を8,000字の論文にまとめ発表します。自己の可能性を拓き生涯設計の基礎を築いていきます。

1年次 産業社会と人間

将来を見すえる力

2年次 基本探究

学習を深め発展させる力

令和2年度合格体験記より

3年次 総括探究

学習を継続させる力



「自分を信じること」中村 智椰 (公立はこだて未来大学 システム情報科学部)
私は将来、VR(ヴァーチャリアリティ)を発達させる仕事に就きたいと考えています。この大学を希望し、総合型選抜入試を受けることにしたのは得意科目の数学、情報が生かせると思ったからです。面接ではプレゼンテーション資料の提出もありましたが、太子高校では「総括探究」という授業でプレゼンテーション学習をするので授業で体験したことがとても役に立ちました。英語の試験はネットニュースや新聞などから情報系の内容が抜粋されておりとても難しく、過去問を解き何度も先生に添削をお願いしました。3年生になった時、担任の先生に「目標を明確に持つことが大事だ」と言われました。きっと誰か一人は自分の頑張りを見てくれる人がいます。その人たちはきっと自分のことを信じてくれるはずです。その人たちを大切に、毎日、コツコツと努力する。そうすればきっと努力は報われるはずです。頑張ってください。



「消防士になるために」柏原 良亮 (神戸市消防局)
私は高校一年生の頃から消防士になりたいという思いが強くなり、職業説明会の際に消防のブースに足を運びました。消防士になるための受験について具体的に調べ始めたのは三年になった5月ごろでした。1か月間はおやみに勉強をはじめたのではなく、どんな試験がありどのような対策をすればいいのかわかりました。この作業はとても大事です。また受験準備のために私が最も時間をかけたのは面接です。どこの消防局の受験でも最終試験に面接があります。多くの先生や、去年消防に合格された先輩に頼み何度も面接練習をしました。何回も繰り返すこと、そして会話を楽しむことで上達したと思います。受験というのは、楽なものではありません。必ずしんどい、きついと思う時がやってきます。そこで力になってくれるのが友達存在です。しんどい時に力を貸してくれる人を大切に、進路実現のために頑張ってください。

